




## 2019年の医療事故情報は4,532件、日本医療機能評価機構 持参薬の鑑別内容の誤りなどの事例を報告書で分析

2020年03月24日 20:05

いいね! 9     スクラップブック 印刷用

日本医療機能評価機構は24日、医療事故情報収集等事業の第60回報告書（2019年10 - 12月）を公表した。対象期間の医療事故情報は1,193件、1年間では4,532件で前年と比べて33件減った。入院時の患者の持参薬を鑑別した際に内容に誤りがあった事例などを分析テーマとして取り上げている。【吉木ちひろ】

同機構によると、19年の報告は報告義務対象医療機関から4,049件、任意参加の医療機関から483件あった。報告義務対象医療機関の事故の概要に関しては、「療養上の世話」が1,409件で最も多く、以下は「治療・処置」（1,166件）、「その他」（531件）、「ドレーン・チューブ」（310件）、「薬剤」（297件）、「検査」（235件）などの順だった。

また、事故の程度に関しては、「死亡」266件（6.6%）、「障害残存の可能性が高い」418件（10.3%）、「障害残存の可能性が低い」1,184件（29.2%）、「障害残存の可能性なし」1,120件（27.7%）、「障害なし」942件（23.3%）、「不明」119件（2.9%）となっている。

(残り557字 / 全1036字)

この記事は有料会員限定です。  
有料会員になると続きをお読みいただけます。

登録して全文を読む &gt;

ログインして全文を読む &gt;

## CBnewsからのお知らせ

- ▶ **04/01**  
グループ会社の組織・事業改編に伴いおよび利用規約の一部を変更致しました
- ▶ **03/31**  
メールマガジン送信元アドレス変更のお知らせ
- ▶ **09/24**  
CBnews マネジメント購読料据え知らせ
- ▶ **04/25**  
10連休に伴う口座振替日の変更等に関するお知らせ
- ▶ **10/01**  
運営元及び、利用規約の一部を変更致した。



記事全文がお読みいただけるほか  
便利な機能もお使いいただけます

購読

ドクター採用でお悩みの病院関係者

医療業界特有の事情をおさ  
採用戦略と成功事例を公開

詳しくはこちら &gt;&gt;&gt;

経営に役立つ情報を抜粋のコストパフォーマンス

購読月の  
購読料無料

